挿絵 が含まれている画像

自動的に生成された説明

**今日は『自灯明・法灯明』についてお話をしたいと思います。**

**お釈迦さまが亡くなる直前、お弟子の代表の方が「我々はどうすればいいんでしょう。こんなに苦しいことはありません。あなたがいなくなったら我々は、何を持って生きていけばいいのでしょうか？」と、そのように伺ったといいます。その時のお釈迦さまの最期のご指導が、この『自灯明・法灯明』です。**

**わかりやすく言えば『自灯明』というのは、自分を照らしなさいということです。そして、『法灯明』とは『法』、つまり教えですから、妙智會では、妙智會の教え、会主さまの教え、それを光として崇めなさい、ということです。**

**要は、教えを拠り所にしながら、自分を拠り所にしなさい、自分を光と思って、自分自身をきちんと作り上げなさいということなのです。**

**私たちはどうしても他人のせいにしたり、他に頼ってしまいます。その方が楽ですから。例えば、親や支部長がお経を上げているから、自分は上げなくてもいい。ご先祖さまに対しても、もう前の人が集めているから、誰かがやってくれてるから私はしなくてもいいという人がいますが、これは『自灯明』とは反対の考えですね。こういうことを突き詰めていけば、結局自分がやりたくないからやらないだけの話なのです。自分を見て、自分を光にしてください。人に託さずに、法のために自分がやってください。**

**ここをしっかりと皆さんにお伝えするべきだと思いました。もしそういうことを思っているのであれば、あと2週間懺悔をして、良い年を迎えてもらいたいと思います。**

**１２月１４日 本部供養会**

本殿大講堂（ライブ配信）

**宮本法嗣先生ご指導**

Vol.**117**

2023.12.18

**１/２**

**２/２**

**R5.1214\_供養会　Vol.117**

**皆さんは今年1年間を振り返ってみて、何でもかんでも「誰々が～」と第三者を使って、人のせいにしてはいなかったでしょうか。こういうことは、なかなか気付かなくなってくるのです。ですから、今日の話を聞いて「あの人がああ言ったから～」と、事あるごとに人のせいにしていたなと思えたら、それは『前進』です。**

**人のせいにするのは楽です。これほど楽なものはありませんが、それは寂しいことですよね。その寂しいという感覚がなくなってはいけないと思います。人のせいにするということを、ぜひ変えていただきたい。そしてこの『自灯明』の教えを持って頂きたいなと、皆さんにお願いしている次第です。**

**また、今の世の中は誰かが何かを無理やり決めつけて批判したりすることがありますね。ですが、人それぞれ様々な業障があって、前世があって、様々な思いがあって生まれてきているのです。みんなそれぞれ別々なのだから、様々な考えがあっていいのではないかと、私は思います。小さい時から宮本家では「みんな平等だ、みんな生きているのだ」ということを、母から強く教わったので、決めつけて人を差別する感覚が、私にはおかげさまでありません。**

**みんなそれぞれ違う光なのです。それならば自分を拠り所にして、自分で生きていくということが大切だと思います。そしてそのベースは『法灯明』であると、お釈迦さまもおっしゃってくれています。**

**教えをもとにしてしっかり教えを行い、その上で、各自が各自の人生を歩んでください。また、人に頼りすぎてはいけません。人のせいにしてはいけません。教えをもとに、自分自身で、自分の足で、自分の考えで、自分の心で生きていくことが、とても大切です。**